

平成29年度
就実大学

講

演

会

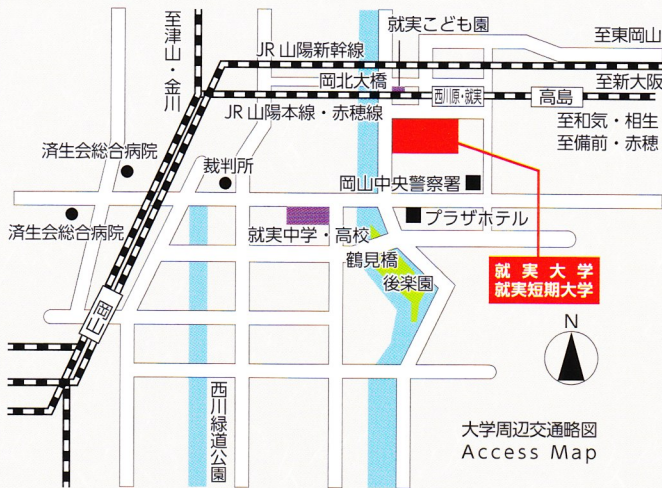
入場無料

公

開

学

術



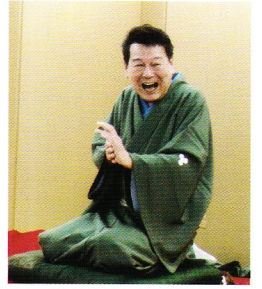
JRをご利用の方

○JR山陽本線・赤穂線「西川原・就実」駅下車徒歩1分
ご来場の際は、公共交通機関をご利用下さい。

主催 **就実大学**
岡山市中区西川原一丁目6番1号
TEL **(086) 271-8121**
(教務課分室)

表現文化学会 10月14日(土) 13:30~ R601

落語を楽しむ
—口語表現の多様性を探る—



桂 小文吾 落語家・上方落語協会会友
(本名：寺田成行)

略歴 京都市出身。昭和27年、15歳で五代目桂文吾の弟子になる。その後芸道に行き詰まり引退。28歳の時、縁あって山陰に移住し、会社勤務。63歳で定年とほぼ同時に桂米朝の強い後援をうけて落語界に復帰。上方落語の貴重なネタを伝える一人として注目される。

英文学会 11月11日(土) 14:00~ S101

Manga :
翻訳が作り出した新たなジャンル



山口 治彦 神戸市外国語大学教授。同副学長。

略歴 大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。文学修士。金沢大学教育学部講師、助教授を経て、現在、神戸市外国語大学教授。同副学長。

抄録 マンガが本格的に英語に翻訳されるのは1980年代後半からですが、そこから20年くらいの短い期間で、manga という新たなジャンルが翻訳を通して確立されました。Mangaが北米地域でどのように受け入れられたのか、ことばに関わるどのような要因があったのか、跡付けてみましょう。

主な著書 『語りのレトリック』(海鳴社、1998年)
『明晰な引用、しなやかな引用：話法の日英対照研究』(くろしお出版、2009年)
『談話研究室によるこそ(1)-(81)』(三省堂ワードワイズ・ウェブ、<http://dictionary.sanseido-publ.co.jp/wp/index.php>、2011-2014年)

史学会 11月18日(土) 13:30~ E402

分国法からみた戦国時代



清水 克行 明治大学 商学部 教授

略歴 1994年 立教大学文学部卒業
2004年 早稲田大学 博士(文学)
2006年 明治大学商学部専任講師
2009年 同准教授
2014年 同教授(現在に至る)

主な著書 『室町社会の騒擾と秩序』(吉川弘文館、2004年)、『喧嘩両成敗の誕生』(講談社選書メチエ、2006年)、『大飢饉、室町社会を襲う!』(吉川弘文館、2008年)、『日本神判史』(中央公論新社、2010年)、『足利尊氏と関東』(吉川弘文館、2013年)、『耳鼻削ぎの日本史』(洋泉社、2015年)など